

平成 30 年 9 月 吉日

常勤医師募集のご案内



医療法人社団絹和会
睡眠総合ケアクリニック代々木
理事長 井上 雄一

睡眠総合ケアクリニック代々木では、睡眠医療に携わっていただける常勤医師を募集しております。

本施設は睡眠障害の受診症例数が極めて豊富で、初診例が月間 300 名程度、再診例が 3,700 名程度あり、5 名の常勤医師（うち 4 名は睡眠学会認定医、3 名は精神科専門医制度指導医）、1 名の歯科医師（睡眠学会認定歯科医）と非常勤医師（精神科、神経内科、呼吸器内科、耳鼻咽喉科など）10 数名、臨床心理士が共同して睡眠障害の総合的な診断・治療にあたっております。クリニック内には、入院での睡眠検査を行える病室が 12 室あり、専任の技師 14 名（うち日本睡眠学会認定検査技師 13 名）が検査の実施・解析を担当しております。

当施設は、日本睡眠学会認定医療機関および精神科専門医制度研修施設です。日本睡眠学会認定医師養成のため、まず睡眠診療に必要な検査、診断・治療に関する初期トレーニングを積んでいただいた後に、診療を担当いただきたいと思いますと考えております。

当施設は研究機関でもあり、現在各種睡眠障害（不眠症（認知行動療法を含む）、過眠症、睡眠時呼吸障害、概日リズム睡眠障害、パラソムニア、睡眠関連運動障害など）に関する病態・治療研究、精神疾患との関係についての研究、睡眠障害の疫学や社会的側面に関する研究を行っています。東京医科大学睡眠学講座との共同研究も進めており、施設を相互的に使用し、学位取得にも対応できるシステムになっております。

睡眠臨床の経験は問いません。この領域にご関心のある医師のご応募をお待ちしております。

応募資格；卒後 5 年目以上（後期卒後研修修了者）15 年目までの医師（精神科・神経内科医師を歓迎致します。）

勤務希望；週 4 日以上勤務

待遇；面談にてご相談いたします。

募集人員；若干名 雇用期間；1 年間以上、ご希望について相談いたします。

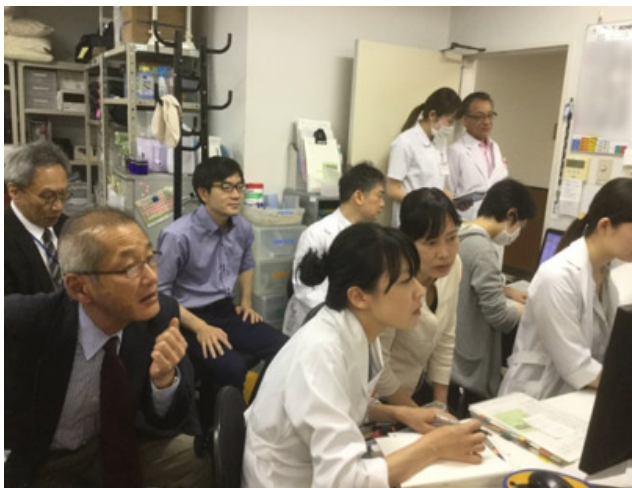
提出書類；履歴書、職務経歴書、業績目録（原書、総説、著書、学会発表等）をご送付下さい。

応募期間；2018 年 9 月～2019 年 1 月末日

連絡先 ；〒151-0053 東京都渋谷区代々木 5-10-10 SY ビル

TEL；03-6300-5401 HPアドレス：<https://www.somnology.com>

担当 難波迄 E-mail: info@somnology.com



毎朝の症例カンファレンスの風景



抄読会（週 1 回）時の風景

研修プログラムのご紹介

睡眠総合ケアクリニック代々木では、不眠症をはじめ、睡眠関連呼吸障害、過眠症、概日リズム睡眠覚醒障害、睡眠時随伴症、睡眠関連運動障害などの多様な睡眠障害の総合的な診断・治療に対応するため、各種疾患についての知識を習熟していただきます。このため通常診療に従事する前に、初期トレーニングとして、睡眠学会認定医ないし精神科専門制度指導医による以下の教育カリキュラムを設定しています。

本院は日本睡眠学会認定医療機関および精神科専門医制度研修施設であり、本院での研修開始後、2年以上の臨床経験を積み、日本睡眠学会の会員歴が3年間以上に達すると、日本睡眠学会の睡眠医療認定医師の資格の取得が可能になります。

教育カリキュラム

外来陪席、クルズス(約2か月間)

①疾患の病態と治療

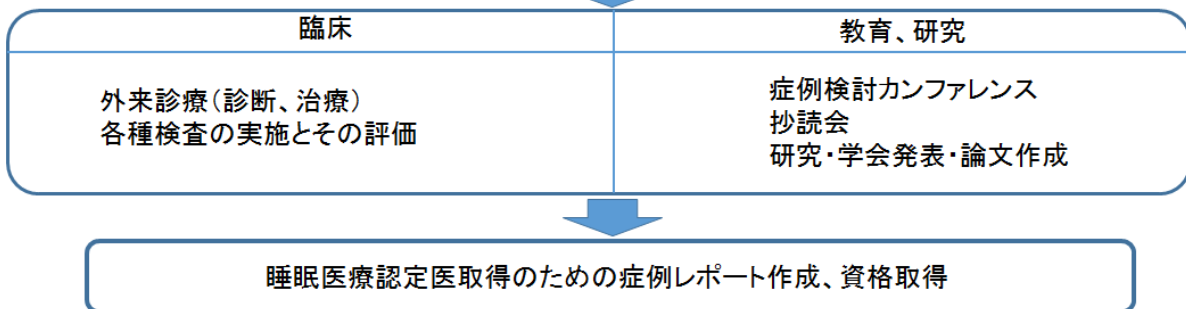
対象疾患:不眠症、睡眠関連呼吸障害群(睡眠時無呼吸症候群・肥満肺胞低換気など)、中枢性過眠症群(ナルコレプシー・特発性過眠症など)、概日リズム睡眠覚醒障害群(睡眠相後退障害・交代勤務性障害など)、睡眠時随伴症群(ノンレムパラソムニア・レム睡眠行動障害など)、睡眠関連運動障害群(むずむず脚症候群・周期性四肢運動障害・歯ぎしりなど)

指導医師より各疾患群について約60分程度のテキストやスライドによる講義、臨床心理士より認知行動療法についての講義、各疾患の初診時間診や鑑別検査の選別、診断、治療法について陪席

②検査とその評価

対象検査:終夜睡眠ポリグラフィ(NPSG)、睡眠潜時反復検査(MSLT)、覚醒維持検査(MWT)、セファログラム、鼻腔通気度、呼吸機能検査、脳波検査、神経伝導検査、アクチグラフィなど

指導医師より各検査についての講義、臨床検査技師よりNPSG(睡眠段階判定・呼吸イベント判定・REM without atonia判定など)、MSLT、CPAPタイトレーションについて講義、見学実習、検査オーダーや各検査結果の説明について陪席



1 日の流れ



- ・当直はありません
- ・外来担当は週6コマ（合計18時間）程度・外勤日が週1日あります
- ・専門的な睡眠検査および診療について各科医師、臨床検査技師、臨床心理士との連携のもと総合的に学ぶことができます
- ・毎朝行われる症例検討カンファレンスでは、睡眠検査の結果や臨床所見等をもとに診断・治療方針について検討します
- ・月2回行われる英語論文の抄読会では、医局員全体で最新の知識を共有しています
- ・睡眠障害に関する教育・研究および学会活動を活発に行っており、研究論文の作成や認定医療機関での教育により、各種資格取得にも対応しています
- ・当院には睡眠学会認定医・精神科専門医・精神科専門医制度指導医・呼吸器科専門医・矯正歯科認定医など多数の専門医・指導医が在籍しています